

# 深谷青年会議所のまちづくり運動

4月4日(土)瀧宮神社

第21回ふかや桜まつり  
第30回緑と子供のまつり  
～桜の木の下に  
笑顔が生まれる～



春爛漫の瀧宮神社にてキッズ相撲、人力車、特製絵馬飾りが催され、桜の木の下に集まった子ども達に夢に向かっていく気持ちを育てていただきました。

5月2日(土)深谷駅前通り

ふかやニコニコランド  
～笑顔溢れる  
夢と希望のまち～



深谷駅前通りにて、深谷のまちが夢と希望に満ちあふれるようにバルーンリリース、笑顔の写真アートなど、多くの人に笑顔になっていただきました。

# みんなであつろう深谷のまち

8月29日(土)・30日(日)  
大滝げんきプラザ

チャレンジキャンプ2015  
～夢と希望を拓ける為に～



SLバレオエクスプレスに乗って大滝げんきプラザへ。子ども達は自分の夢を叶えるために必要なものを一緒に探してきました。

災害支援  
茨城・宮城の災害支援



4月豪雨・東日本大震災に対する募金活動

9月台風第18号等大雨災害に対する物資支援・復興支援活動

## 新入会員募集

2015年度現役メンバー



一般社団法人深谷青年会議所は、20歳以上40歳未満までの志の高い青年経済人によって『修練』『奉仕』『友情』という三信条のもと、『明るい豊かな社会』の実現を目指す青年団体です。ぜひ私達と一緒に活動しましょう。

事務局  
〒366-0828  
埼玉県深谷市東大沼308-1川田ビル2階2-C号室  
TEL:048-571-2218 FAX:048-572-7033  
MAIL:info@fukaya-jc.org  
HP:www.fukaya-jc.org/JCHP/2015/

# JCI 深谷青年会議所通信

発行日：2015年11月2日  
発行：一般社団法人  
深谷青年会議所  
編集：社会開発委員会



# 深谷市歌完成!



# まちの新たなシンボル

## 市歌完成までの流れ

2006年	2013年	2014年	2015年	11月22日
青年会議所の活動	深谷青年会議所が合併し、今年で10年目を迎えます。しかし、旧市町の枠組みで考える姿勢は根強く、まだ二つにまともなものは言い切れません。どうすれば一体感が生まれるのかと考えた時、かつて旧市町で歌われた市歌の存在を思い出しました。深谷青年会議所では、市民団体など(※)に呼びかけを行い、行政との協働により市歌制作へ歩みを進めてまいりました。こうして完成した市歌が11月22日に行われます第43回深谷市民音楽祭においてお披露目となり、地域の皆様によって「市歌」に命が吹き込まれようとしております。	深谷青年会議所では、市民団体など(※)に呼びかけを行い、行政との協働により市歌制作へ歩みを進めてまいりました。こうして完成した市歌が11月22日に行われます第43回深谷市民音楽祭においてお披露目となり、地域の皆様によって「市歌」に命が吹き込まれようとしております。	深谷青年会議所では、市民団体など(※)に呼びかけを行い、行政との協働により市歌制作へ歩みを進めてまいりました。こうして完成した市歌が11月22日に行われます第43回深谷市民音楽祭においてお披露目となり、地域の皆様によって「市歌」に命が吹き込まれようとしております。	深谷青年会議所では、市民団体など(※)に呼びかけを行い、行政との協働により市歌制作へ歩みを進めてまいりました。こうして完成した市歌が11月22日に行われます第43回深谷市民音楽祭においてお披露目となり、地域の皆様によって「市歌」に命が吹き込まれようとしております。

## ※市歌制作に協力して下さった団体等

深谷市 深谷市自治会連合会 深谷商工会議所 ふかや市商工会 深谷市PTA連合会  
深谷市レクリエーション協会 深谷市音楽連絡協議会 深谷市音楽祭実行委員会  
深谷ロータリークラブ 深谷東ロータリークラブ 深谷ノースロータリークラブ  
岡部ロータリークラブ 川本ロータリークラブ 深谷ライオンズクラブ  
岡部ライオンズクラブ 深谷青年会議所OB会 深谷市教育委員会 深谷市校長会  
アンケートに協力していただいた約1,400名の市民の皆さん  
原曲審査に協力していただいた市内小中学校の児童生徒の皆さん

「市歌」って? 平成18年に旧市三町が合併し、今年で10年目を迎えます。しかし、旧市町の枠組みで考える姿勢は根強く、まだ二つにまともなものは言い切れません。どうすれば一体感が生まれるのかと考えた時、かつて旧市町で歌われた市歌の存在を思い出しました。深谷青年会議所では、市民団体など(※)に呼びかけを行い、行政との協働により市歌制作へ歩みを進めてまいりました。こうして完成した市歌が11月22日に行われます第43回深谷市民音楽祭においてお披露目となり、地域の皆様によって「市歌」に命が吹き込まれようとしております。これから深谷に住む皆様で大切に大きく育てていきましょう。

## 地域の未来の為に

夢・希望・笑顔



第52代理事長 宇田 貴秀

平素は、一般社団法人深谷青年会議所の運動に対し、多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。本年度、私達は「地域の未来の為に」夢・希望・笑顔」を運動指針に掲げ事業に取り組みでまいりました。一昨年より「深谷市歌制定」に向けて運動展開してまいりましたが、新深谷市が誕生し10周年を迎える本年、行政の皆様や地域を代表する市民の皆様と共に、子どもから大人まで全ての世代が深谷市を想う歌を作ることが出来ました。「将来、この地域を動かしてくれる頼もしい担い手になって欲しい」、そんな想いを描きながら青少年事業である「第21回ふかや桜まつり」を4月に瀧宮神社で、そして、8月には「チャレンジキャンプ2015」を1泊2日で大滝げんきプラザ等にて開催致しました。多くの子ども達にご参加頂き、この深谷市へ郷土愛を育むことが出来、また、自分の将来への夢や希望を拓ける為の気づきを与える事が出来ました。5月の「ふかやニコニコランド」は、この街に住むすべての皆様、夢や希望の実現に向けて行動し、その結果、笑顔に溢れる、開眼致しました。そして年間を通して、今後のこの街をどのような街にしたらいいのか、この地域に住むすべての人たちが、まちづくりに関心を持ち、意見を述べる、「自分たちのまち」は自分たちでつくる「そんな意識が芽生えるよう講演会や実際のワークショップを開催させて頂きました。これらすべてが、10年後、20年後のこの地域の未来の為に、行われて頂いた事業です。今後も我々深谷青年会議所は、夢や希望、笑顔溢れる地域を目指し運動展開を行ってまいりますので、何卒、宜しくお願ひ申し上げます。



# 考えよう 深谷の未来のために



## 「地域のことは地域で決める」

まちづくりに参加したく  
なったらこちら→

「まちづくりワークショップ」を開催



小グループに分かれて  
深谷のまちづくりについてディスカッション

### 市民が主体のまちづくり

新深谷市制十周年を迎え、少子化・高齢化をはじめとする多くの課題が残されたままです。今後は多くの方が自分達の住む地域に関心を持ち、積極的にまちづくりに参加して、地域の課題をみんなで解決していくことが求められます。しかし、普段まちづくりに参加できない、あるいは関心のない「声なき大衆（サイレント・マジョリティ）」と呼ばれる地域住民が多く存在することが課題となっております。私達深谷青年会議所は、これから多くの地域の方々と一緒にみんなが地域の主役になるまちづくりを目指します。



### まちづくりとは

従来からまちづくりへの意識の高い方達が率先して行われてきたように感じる方も少なくないでしょう。実際、自分が参加していても「まち」は大して変わらないと感じている方は多くいます。多くの方達にとっては、まちづくりへの参画をハードルの高いものだと感じることでしょう。

しかし、住む地域に関心を持てなくなれば、それがやがて子に伝わり、若い人達がどんどんと地域を離れていき、いずれ「からっぽの地」になってしまいます。

そういった懸念を払拭できるように、私達青年会議所は「市民討議会」という新たなコミュニティを提案し、多くの方に理解・周知していただけるように運動を展開してきました。「まちづくりワークショップ」はそのような運動の一環として行われ、参加者から多くの意見をいただきました。

意欲のある方達だけではまちづくりは達成できません。

市民が主体となる地域であるように、「意見を出せる地域」であるように、みなさんもまちづくりに参加しましょう。

### キーワード「市民討議会」

地域で物事を決めていく時は、議会・有識者会議などに象徴されるように地区の代表者が会合を開くなどして地域の意思決定が行われることが多くあります。これらは代表制民主主義と呼ばれております。

「市民討議会」は地域に住む一般市民を対象に、地域の課題や問題に対しての解決方法などを話し合うコミュニティです。

最大の特徴としては、参加者を、住民基本台帳などをベースに無作為抽出によって募集を行うことです。これにより参加通知が個人宛に届くこととなります。無論、参加は強制ではなく、参加の可否を示すことが出来ます。

「市民討議会」は近年全国的に広がりを見せて、毎年行われる地域もあります。

これにより、まちづくり参画の『掘り起し』が出来るとともに、老若男女、地域といった多様性のある話し合いを生み出します。

討議会では、テーマに沿って小グループ討議が行われ、参加者の発言を妨げない配慮がなされます。それゆえ参加者からは「大変有意義だった」「楽しかった」という声が聞かれます。

討議の結果は行政に報告され、地域の意見として取り入れられて、まちづくりに活かされていきます。